



美術部も活躍しました！！

7月15日(月)、国道42号線沿い河川敷(鮎茶屋前)にて「花いっぱい 夏祭り」(主催:きれいにしようよ、河川敷!実行委員会)が行われました。

本校では、以前よりこの活動に協力しており、みょうじんNo.9でも紹介したように5月4日の「花いっぱいの河川敷を目指して、みんなで花を植えよう!」にも8名の生徒がボランティアで参加しました。

今回の夏祭りでは、広場に名前をつけ看板を設置することで、本校の美術部に看板の制作依頼がありました。美術部では、放課後や休日に制作に励み、当日、完成した看板がお披露目されました。

広場は「きずな広場」と名付けられ、お祭りには多くの地域の方が参加され、楽しい1日を過ごしました。

鮎茶屋の前を通行する際には、ぜひ美術が作成した看板をご覧ください。



図書委員会 ビブリオバトル

7月17日(水)第6限、体育館において図書委員会によるビブリオバトルが開催されました。

本校では生徒たちの読書活動の推進、充実に向けて、「朝の読書」など、いろいろな取組を行っています。今回のビブリオバトルは、1年生にビブリオバトルを紹介すること、夏季休業中の読書活動を充実させること、2学期に開催予定の全校生徒によるビブリオバトルの気運を盛り上げること、などを目的に開催しました。

今回のバトルでは、図書委員の中から、御前星真(2年)「旅猫リポート(有川浩)」、西山来希(3年)「また、同じ夢を見ていた(住野よる)」、岩崎梨好(3年)「マダラ(喜多喜久)」の3名が代表として発表しました。発表の内容も素晴らしく、聞いている生徒の態度も大変立派でした。

なお、今回は投票は行わず、チャンプ本は決めていません。

～ビブリオバトルとは?～

どこでも手軽に楽しめる書評ゲームで、2007年、京都大学の大学院生が輪読会で読む本は自分たちで決めようと考案したそうです。「人を通して本を知る、本を通して人を知る」がキャッチフレーズだそうです。ルールは次の4つだけです。

- ①発表参加者が読んで面白いと思った本を持ち寄る。
- ②順番に一人5分間で本を紹介します。
- ③それぞれの発表後、参加者全員で本に関するディスカッションを2～3分を行います。
- ④全員の発表終了後、「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員(一人1票)で行い、最も多くの票を集めた本がチャンプ本になります。

